

金融合作社法及關係命令

目次

○金融合作社法

○金融合作社法施行規則

一

二

○金融合作社法

(康徳元年九月十七日勅令第百十七號)

朕組織法第四十二條ニ依リ參議府ノ諮詢ヲ經テ金融合作社法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

(國務總理大臣、財政部大臣署名)

金融合作社法

第一章 總 則

- 第一條** 金融合作社ハ社員ノ經濟ヲ發達セシムル爲其ノ金融ヲ圖ルヲ目的トスル社團人トス
- 第二條** 社員ハ金融合作社ノ區域内ニ住所ヲ有スル者ニ限ル
- 第三條** 金融合作社ノ住所ハ其ノ主事務所ノ所在地ニ在ルモノトス
- 第四條** 金融合作社ノ名稱中ニハ金融合作社ナル文字ヲ用フルコトヲ要ス
- 第五條** 金融合作社ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ金融合作社タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ
- 一 社員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト
- 二 社員ノ爲ニ預金ヲ受入ルコト
- 三 社員ノニ一定額ノ給付ヲ爲スコトヲ約シ同期日迄ニ定期ニ又ハ數回ニ金錢ヲ受入ルコト
- 金融合作社ハ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ社員ニ非ザル者ヨリ預金ヲ受入レ又ハ社員ニ非ザル者ノ爲前項第三號ノ業務ヲ行フコトヲ得

二
財政部大臣ノ指定スル市街地方其ノ區域ニ屬スル金融合作社ハ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ第一項第一號ニ掲グル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲スコトヲ得

第六條 金融合作社ハ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ他ノ金融合作社、銀行若ハ金融業者ノ業務ヲ代理シ又ハ銀行若ハ金融業者ノ業務ノ媒介ヲ爲スコトヲ得

第七條 財政部大臣必要アリト認ムルトキハ金融合作社ノ業務ヲ制限スルコトヲ得

第八條 金融合作社ハ財政部大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ借入金ヲ爲スコトヲ得ズ

第九條 業務上ノ遊金ハ金融合作社聯合會ニ預入スルノ外之ヲ利用スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ財政部大臣ノ指定スル銀行ニ預入シ又ハ郵便貯金ト爲スコトヲ得

第十條 金融合作社ハ業務ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務擔保ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動産又ハ不動産ヲ取得スルコトヲ得ズ

第十一條 本令ニ定ムルモノノ外金融合作社ノ業務ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ財政部大臣之ヲ定ム

第二章 設立
第十二條 金融合作社ヲ設立セントスルトキハ設立者定款ヲ作成シ財政部大臣ノ許可ヲ受ケベシ

第十三條 定款ニハ本令及本令ニ基キテ發スル命令ニ規定スルモノノ外左ノ事項ヲ記載スベシ

一 目的
二 名稱
三 區域
四 主事務所及分事務所ノ所在地

五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
六 第一回ノ拂込金額
七 準備金積立ノ方法
八 剰餘金ノ處分及缺損ノ補填ニ關スル規定

九 社員タル資格ニ關スル規定
十 社員ノ加入及脱退ニ關スル規定
十一 解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ事由
十二 業務ノ執行ニ關スル規定

第十四條 財政部大臣必要アリト認ムルトキハ金融合作社ノ區域及事務所所在地ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十五條 金融合作社ハ社員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ズ

第十六條 出資一口ノ金額ハ五圓以上三十圓以下トシ均一ニ之ヲ定ムベシ

第十七條 設立者設立ノ許可ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ社員タルベキ者ヲシテ第一回ノ拂込金ニ相當スル金額ヲ拂込マシムベシ

第十八條 前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スベシ

一 目的
二 名稱
三 區域
四 主事務所及分事務所

- 五 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 六 設立許可年月日
- 七 前條ノ規定ニ依リ拂込ヲ受ケタル總口數及總金額
- 八 解散ノ事由

金融合作社設立後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スベシ
 社長、理事、副理事又ハ監事ノ認可、任命又ハ選任アリタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ住所及
 氏名ヲ登記スベシ

第十九條 金融合作社ハ其ノ主事務所ノ所在地ニ於テ前條第一項ノ登記ヲ爲シタルトキ成立ス

第二十條 登記シタル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ變更登記ヲ爲スベシ
 前項ノ規定ニ依リ登記ヲ爲ス以前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ズ

分事務所ノ所在地ニ於テ第一項ノ規定ニ依リ登記ヲ爲サザルトキハ前項ノ規定ハ當該分事務所ノ所在地ニ於テ爲シ
 タル行爲ニ付テノミ之ヲ適用ス金融合作社ノ出資總口數及拂込金額ハ其ノ毎事業年度末現在ニ依リ年度終了後一
 月以内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ登記スベシ

第二十一條 土地又ハ行政區劃ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ノ記載ハ當然變更シタルモノト看做ス
 前項ノ變更アリタルトキハ金融合作社ハ遲滞ナク之ヲ登記所ニ通知スベシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ登記所ハ記載ヲ變更スベシ
 第一項ノ規定ハ金融合作社ノ區域及事務所所在地ニ關スル定款ノ記載ニ之ヲ準用ス

第二十二條 本令ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ニ付當該官署ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノハ其ノ許可書又ハ認可書ノ
 到達シタル時ヨリ登記期間ヲ起算ス

第三章 社員ノ權利義務

第二十三條 社員ハ一口以上出資スルコトヲ要ス

第二十四條 社員ノ責任ハ出資額ヲ以テ其ノ限度トス

第二十五條 社員ハ拂込ムベキ出資ニ付相殺ヲ以テ金融合作社ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十六條 社員ハ金融合作社ノ承諾ヲ得ルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ズ
 社員ニ非ザル者ノ持分ノ讓受ケニ關シテハ第六十四條第一項ノ例ニ依ル

第二十七條 社員ノ持分ハ之ヲ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ズ

第二十八條 社員ノ持分ハ之ヲ共有スルコトヲ得ズ

第二十九條 持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス

第四章 管理

第三十條 金融合作社ニ社長、理事一人、監事二人及評議員五人ヲ置ク必要アル場合ニ於テハ財政部大臣ノ認可ヲ受
 ケ副理事一人ヲ置クコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アル場合ハ監事三人以上、評議員六人以上、副理事二人以上ヲ置
 クコトヲ妨ガズ

社長ハ總會ニ於テ社員中ヨリ選任シ財政部大臣ノ認可ヲ受クベシ

理事及副理事ハ財政部大臣之ヲ任免ス

理事及副理事ニハ財政部大臣ノ指定スル給料及手當ヲ給スベシ

監事及評議員ハ總會ニ於テ社員中ヨリ之ヲ選任ス

第三十一條 監事ハ社長理事副理事及評議員其ノ他金融合作社ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ズ
第三十二條 社長ノ任期ハ三年トス但シ其ノ任期満了ノ日ガ年度終了後該年度ノ決算ニ關スル總會終結前ニ在ルトキハ該總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長ス

監事ノ任期ハ二年シト評議員ノ任期ハ一年トス但シ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ妨グズ

第三十三條 社長及監事ノ選任ハ總社員ノ半數以上出席シタル總會ニ於テ之ヲ決ス

第三十四條 社長ハ理事ト共同シテ金融合作社ヲ代表ス但シ金融合作社ノ常務ニ付テハ理事單獨ニ之ヲ代表ス

社長又ハ理事ニ對シテ爲シタル意思表示ハ金融合作社ニ對シテ其ノ效力ヲ生ズ

社長ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總會及評議員會ノ議長ト爲ル

社長事故アルトキハ理事之ヲ代理シ關員ノ場合ハ理事其ノ職務ヲ行フ理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ金融合作社ノ業務ヲ執行ス

理事ハ總會及評議員會ニ出席シ意見ヲ述ブルコトヲ得

副理事ハ社長及理事ヲ輔佐シ理事事故アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ職務ヲ代理ス

副理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十五條 金融合作社ハ社長、理事、又ハ副理事ガ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ズ

第三十六條 監事ハ金融合作社ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

監事ハ金融合作社ノ財産又ハ業務執行ニ付不正又ハ不當ノ點アリト認ムルトキハ之ヲ財政部大臣ニ具申スベシ

第三十七條 金融合作社ト社長、理事、又ハ副理事トノ間ニ於ケル法律行為ニ付テハ監事金融合作社ヲ代表ス金融合作社ト社長理事又ハ副理事トノ間ニ於ケル訴訟ニ付亦同シ

第三十八條 評議員ハ評議員會ヲ組織ス

評議員會ハ社長之ヲ招集ス

評議員會ハ本令、本令ニ基キテ發スル命令及定款ニ定ムル事項ヲ決議ス其ノ決議ノ方法ハ定款ノ定ムル所ニ依ル

評議員會ハ金融合作社ノ業務ニ關シ社長又ハ理事ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十九條 定時總會ハ比年一回定款ニ定ムル時期ニ於テ社長之ヲ招集ス

第四十條 臨時總會ハ社長必要アリト認ムルトキ之ヲ招集ス

第四十一條 社員ハ總社員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ書面ヲ以テ目的及理由ヲ示シ臨時總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ社長ハ一月以内ニ之ヲ招集スルコトヲ要ス

社長前項ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ總會招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ監事ニ於テ之ヲ招集スベシ

第四十二條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クモ十日前ニ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル招集狀ヲ發スルコトヲ要ス

第四十三條 總會ニ於テハ招集狀ニ記載シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スモノトス

第四十四條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲シ可否同數ナ

ルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十五條 社員ノ表決權ハ平等トス

第四十六條 社員ハ代理人ヲ以テ表決權ヲ行フコトヲ得

代理人ハ社員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ金融合作社ニ差出スベシ

第四十七條 社長、理事、監事又ハ社員ハ總會ノ招集又ハ決議ガ法令又ハ定款ニ違反スト認ムルトキハ其ノ決議ノ取消ヲ財政部大臣ニ申請スルコトヲ得

第四十八條 金融合作社ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代会ヲ設クルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テハ定款ニ總代ノ員數、任期及選任ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ要ス
總會ニ關スル規定ハ第四十六條ノ規定ヲ除クノ外總代会ニ之ヲ準用ス

第四十九條 總會評議員會又ハ總代会ニ於テ社員、評議員又ハ總代ノ一身上ノ事件ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ當該社員、評議員又ハ總代ハ表決ノ數ニ加ハルコトヲ得ズ

第五十條 社長及理事ハ定時總會ノ招集ノ日ヨリ少クモ一週間前ニ貸借對照表、財産目録、事業報告書及剩餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且定時總會ノ終結ノ日迄之ヲ事務所ニ備ヘ置クベシ
社員及金融合作社ノ債權者ハ前項ノ規定ニ依リ主事務所ニ備付ケタル書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 社長及理事ハ前條第一項ニ規定スル書類及之ニ關スル監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ
社長及理事ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間内ニ該書類ヲ財政部大臣ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スベシ

第五十二條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ヲ經タル後財政部大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五十三條 規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス

第五十三條 金融合作社ハ定款及社員名簿ヲ主事務所ニ備ヘ置クベシ
社員及金融合作社ノ債權者ハ前項ニ規定スル書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得

第五十四條 社員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 氏名及住所

二 出資口數

三 出資各口ニ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日

四 持分ノ讓渡又ハ讓受ノ年月日

第五十五條 金融合作社ガ其ノ社員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ社員名簿ニ記載シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常到達スベカリシ日ニ到達シタルモノト推定ス

第五十六條 金融合作社ノ事業年度ハ一年トス

第五十七條 金融合作社ガ出資一口ノ金額減少ニ關スル定款變更ノ認可ヲ受ケタルトキハ二週間内ニ貸借對照表及財産目録ヲ作製スベシ

金融合作社ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定期間内ニ之ヲ申出ツベキ旨前項ノ規定ニ依リ作製シタル貸借對照表及財産目録ト共ニ定款ノ定ムル方法ニ依リ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スベシ

但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

第五十八條 債權者ガ所定ノ期間内ニ異議ヲ申出テタルトキハ金融合作社ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非ザレバ出資一口ノ金額ヲ減少スルコトヲ得ズ

第五十九條 金融合作社ハ損失ヲ補填シタル後ニ非ザレバ剩餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第六十條 金融合作社ハ準備金トシテ出資總額並ニ預金及定期積金總額ノ合計額ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツベシ剩餘金ハ拂込出額ノ年一割以下ノ割合ヲ以テ配當ヲ爲スコトヲ得但シ社員ガ其ノ出資額全部ノ拂込ヲ終ル迄ハ配當スベキ剩餘金ハ其ノ拂込ニ充ツベシ

第二項ノ準備金及第三項ノ配當金ヲ控除シタル剩餘金ノ殘額ノ處分ニ關シテハ財政部大臣之ヲ定ム

第六十一條 前條第一項ノ準備金ハ左ノ場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

一 損失ノ補填ニ充ツルトキ

二 金融合作社ノ區域ノ一部ガ他ノ金融合作社ノ區域ニ屬スルニ至リタル場合ニ於テ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ共ノ一部ヲ他ノ金融合作社ニ讓與スルトキ

第六十二條 金融合作社ハ第五條第二項ノ規定ニ依リ受入レタル金額ノ三分ノ一以上ヲ財政部大臣ノ定ムル所ニ依リ管理スベシ

前項ノ管理金額ハ毎年四月及十月各末日現在受入金額ニ依リ之ヲ定ム第五條第二項ノ規定ニ依ル預金者及給付金ノ債權者ハ其ノ預金及給付金ニ關シテハ第一項ノ規定ニ依ル管理金ニ付他ノ債權者ニ先ダテ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第六十三條 金融合作社ハ社員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ズ

第五章 加入及脱退

第六十四條 社員ノ加入ハ評議員會ノ加入承諾ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ加入承諾ノ決議ヲ經タル者ハ定款ノ定ムル所ニ依リ直チニ第一回ノ出資拂込ヲ爲スベシ加入申込人前項ノ拂込ヲ爲シタルトキハ社員タル資格ヲ取得ス

第六十五條 社員ハ事業年度ノ終ニ於テ脱退スルコトヲ得但シ三月以前ニ其ノ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

第六十六條 社員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事由アルトキハ脱退シタルモノトス

一 社員タル資格ノ喪失

二 死 亡

三 禁治産ノ宣告

四 除 名

第六十七條 除名ノ事由ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

除名ハ評議員會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

前項ノ決議ハ評議員ノ三分ノ二以上出席シタル評議員會ニ於テ出席評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス除名ハ除名シタル社員ニ通知スルニ非ザレバ之ヲ以テ當該社員ニ對抗スルコトヲ得ズ

第六十八條 脱送シタル社員ハ金融合作社ニ對シ共ノ出資拂込金ニ相當スル金額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル拂戻ノ請求權ハ二年間之ヲ行ハザルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第六十九條 社員脱退シタル年度ニ於テ金融合作社ガ其ノ財産ヲ以テ共ノ債務ヲ完済スルニ足ラザルトキハ當該脱退社員ニ對シ共ノ出資額ヲ限度トシ共ノ負擔ニ歸スベキ金額ノ拂込ヲ請求スルコトヲ得

第七十條 社員死亡ニ因リ脱退シタルトキハ前二條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ相続人ヲ以テ脱退社員ト看做ス

第六章 監 督

第七十一條 金融合作社ハ財政部大臣之ヲ監督ス

財政部大臣必要アリト認ムルトキハ本令ニ定ムル權限ノ一部ヲ省長ヲシテ行ハシムルコトヲ得

第七十二條 財政部大臣ハ何時ニテモ金融合作社ニ對シテ其ノ業務及財産ノ狀況ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

當該官吏ハ何時ニテモ金融合作社ノ業務及財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得

第七十三條 財政部大臣ハ金融合作社ノ業務又ハ財産ノ狀況ニ依リ金融合作社ニ對シ財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナ

ル命令ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 金融合作社若本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ定款ノ規定ニ違反シタルトキ、本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲ス處分ニ服從セザルトキ、公益ヲ害スル虞アリト認ムルトキ又ハ事業ノ繼續困難アリト認ムルトキハ財政部大臣ハ總會若ハ評議員會ノ決議ヲ取消シ社長、監事若ハ評議員ノ改選ヲ命ジ又ハ事業ノ停止ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ財政部大臣必要アリト認ムルトキハ金融合作社ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第七章 解散及合併

第七十五條 金融合作社ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ニ因リテ解散ス

- 一 定款ニ定メタル解散事由ノ發生
 - 二 總會ノ決議
 - 三 合併
 - 四 社員ノ死亡
 - 五 前條第二項ノ規定ニ依ル命令
- 第七十六條 第三十三條ノ規定ハ解散及合併ノ決議ニ之ヲ準用ス
- 第七十七條 總會ノ決議ニ因リ解散又ハ合併ハ財政部大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ
- 第七十八條 金融合作社若第七十五條第一號、第二號又ハ第四號ノ事由ニ因リ解散シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ
- 第二十條第二項及第三項ノ規定ハ解散ノ登記ニ之ヲ準用ス

第七十九條 第五十七條及第五十八條ノ規定ハ金融合作社ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十條 金融合作社若合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル金融合作社ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リ解散スル金融合作社ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立スル金融合作社ニ在リテハ第十八條第一項ノ登記ヲ爲スベシ

第八十一條 合併後存続スル金融合作社又ハ合併ニ因リテ設立スル金融合作社ハ合併ニ因リテ解散スル金融合作社ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十二條 解散シタル金融合作社債務ヲ完済シ殘餘ノ財産アルトキハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ社員ニ分配スルコトヲ要ス

第八章 清算

第八十三條 金融合作社解散シタルトキハ合併ニ因ル場合ヲ除ク外本章ノ規定ニ依リ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第八十四條 清算人ハ財政部大臣之ヲ任免ス

第八十五條 清算人ハ就任後二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ住所及氏名ヲ登記スベシ

前項ノ規定ニ依リ登記シタル事項ニ變更アリタルトキハ清算人ハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ

第二十條第二項及第三項ノ規定ハ清算人ニ關スル登記ニ之ヲ準用ス

第八十六條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ終了
- 二 債權ノ取立及債務ノ辨濟

三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得
清算人ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非ザレバ報酬ヲ受クルコトヲ得ズ

第八十七條 財政部大臣ハ何時ニテモ清算人ニ對シ清算事務及清算財産ノ狀況ノ報告ヲ命ズルコトヲ得
當該官吏ハ何時ニテモ清算事務又ハ清算財産ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得
財政部大臣ハ清算事務又ハ清算財産ノ狀況ニ依リ清算人ニ對シ清算財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコト
ヲ得

第八十八條 清算人ハ就任後遲滞ナク金融合作社ノ清算ニ屬スル財産ノ狀況ヲ調査シ貸借對照表及財産目錄ヲ作製シ
總會ヲ招集シ其ノ承認ヲ求ムベシ

第八十九條 清算人ハ就任後一月以内ニ金融合作社ノ債權者ニ對シ一定期間内ニ債權ヲ申出ツベキ旨ヲ定款ノ定ムル
方法ニ依リ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ
前項ノ公告ニハ債權者方期間内ニ申出ヲ爲サザルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラル可キ旨ヲ附記スルヲ要ス但
シ清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ

第九十條 清算人ハ前條ノ債權申出期間終了前債務ノ辨濟ヲ爲スコトヲ得ズ
清算人ハ前條第一項ノ期間内ニ申出デタル債權者及知レタル債權者ニ對シ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ
供託スルニ非ザレバ殘餘財産ヲ分配スルコトヲ得ズ

第九十一條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作製シ總會ヲ招集シ其ノ承認ヲ求ムベシ

第九十二條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク各事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スベシ
清算人ハ清算ノ顛末ヲ財政部大臣ニ報告スベシ

第九章 登記

第九十三條 金融合作社ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ縣司法機關ヲ以テ管轄登記所ト
ス

第九十四條 登記所ニ金融合作社登記簿ヲ備フ

第九十五條 登記ノ申請書ニハ登記スベキ事項ヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第九十六條 出資一口ノ金額減少ノ登記ノ申請書ニハ前條ノ書面ノ外第五十七條第二項ノ規定ニ依リ公告若ハ催告ヲ
爲シタルコト又ハ第五十八條ニ規定スル異議ヲ述べタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ擔保ヲ供シタル
コトヲ證スル書面ヲ添付スベシ

第九十七條 金融合作社ノ解散登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載スベシ

第九十八條 金融合作社ガ財政部大臣ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ登記所ハ財政部大臣ノ通知ニ依リ登記ヲ爲スベ
シ

第九十九條 金融合作社ニ關シ登記シタル事項ハ登記所遲滞ナク之ヲ公告スベシ

第十章 金融合作社聯合會

第一百條 金融合作社聯合會(以下聯合會ト稱ス)ハ金融合作社ノ會員トシ會員ノ業務上ノ利益ノ増進ヲ圖ルヲ目的ト
スル社團法人トス

第百一條 金融合作社ハ聯合會ノ會員トス

第百二條 聯合會ハ左ノ業務ヲ行フモノトス

一 會員ニ對シ資金ヲ貸付スルコト

二 會員ニ對シ手形ノ割引ヲ爲スコト

三 會員ヨリ預金ノ受入ヲ爲スコト

四 會員ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲シ及其ノ便宜ヲ圖ルコト

五 會員相互ノ聯絡ヲ圖リ會員ノ職責ヲ養成シ其ノ他會員共同ノ利益ヲ増進スルコト

第百三條 聯合會ハ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ支部ヲ置クコトヲ得

第百四條 會員ハ一口以上ヲ出資スルコトヲ要ス

出資一口ノ金額ハ五百圓トス

會員ハ會員タル資格ヲ得タル日ヨリ二週間内ニ出資ノ拂込ヲ爲スベシ

第百五條 聯合會ニ理事長、副理事長一人、理事二人及監事二人ヲ置ク但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ理事三人以上

監事三人以上ヲ置クコトヲ妨グズ

理事長、副理事長及理事ハ財政部大臣之ヲ命ズ

理事長及副理事長ノ任期ハ五年トシ理事ノ任期ハ三年トス但シ任期中ト雖モ財政部大臣必要アリト認ムルトキハ解

任スルコトヲ妨グズ

監事ハ金融合作社ノ代表者中ヨリ總會ニ於テ之ヲ選任ス

監事ノ任期ハ二年トス但シ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第百六條 聯合會ニ參與若干人ヲ置キ理事長ノ諮問ニ應ゼシム

參與ハ財政部大臣之ヲ命ジ其ノ任期ヲ二年トス

第百七條 理事長ハ聯合會ヲ代表シ其ノ事務ヲ綜理シ總會ノ議長ト爲ル副理事長ハ理事長ヲ輔佐シ理事長事故アルト

キハ其ノ職務ヲ代理シ理事長職員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長及副理事長共ニ事故アルトキハ財政部大臣ハ理事ノ一人ヲシテ理事長ノ職務ヲ代理セシム

理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ理事長ノ命ヲ承ケ聯合會ノ事務ヲ分掌ス監事ハ聯合會ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査

ス

第百八條 總會ニハ各金融合作社ヨリ其ノ代表者各一人出席ス

總會ヲ招集セントスルトキハ少クモ三週前ニ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シタル招集狀ヲ發スルコトヲ要ス

第百九條 聯合會ハ預金ノ拂戻準備金トシテ預金總額ノ十分ノ一以上ヲ財政部大臣ノ定ムル所ニ依リ管理スベシ

第百十條 會員ハ其ノ解散ニ因リ脱退ス

第百十一條 聯合會ノ登記ニ付テハ各事務所所在地ヲ管轄スル省公署ヲ以テ管轄登記所トス

登記所ニ金融合作社聯合會登記簿ヲ備フ

第百十二條 第三條、第四條、第七條、第八條、第十條乃至第十四條、第十八條乃至第二十二條、第二十四條、第二

十五條、第二十六條第一項、第二十七條乃至第二十九條、第三十一條、第三十三條、第三十四條、第六項及第八項、

第三十五條、第三十六條第二項、第三十七條、第三十九條乃至第四十一條、第四十三條乃至第四十七條、第四十九條

乃至第五十六條、第五十九條乃至第六十一條、第六十三條、第六十八條、第六十九條、第七十一條乃至第七十八條、

第八十二條乃至第九十二條、第九十五條及第九十七條乃至第九十九條ノ規定ハ金融合作社聯合會ニ之ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依リ準用スル條項中社長トアルハ理事長、理事トアルハ副理事長、副理事トアルハ理事トス

第十一章 罰 則

第百十三條 金融合作社ノ社長、理事、副理事、監事若ハ清算人又ハ聯合會ノ理事長、副理事長、理事、監事若ハ清算

人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

一 監督官署ノ認可ヲ受クベキ場合之ヲ受ケザルトキ

二 本令ニ依リ登記ヲ爲スベキ場合之ヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三 官署又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四 本令ニ依ル公告、報告、其中又ハ催告ヲ爲スベキ場合之ヲ怠リ又ハ不正ノ公告、報告、其中又ハ催告ヲ爲シタルトキ

五 第九條、第十條、第五十八條、第五十九條、第六十條第一項、第六十一條、第六十二條第一項又ハ第百九條ノ規定ニ違反シタルトキ

六 第五十條第一項若ハ五十三條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ正當ノ理由ナクシテ第五十條第二項若ハ第五十三條

第二項ノ規定ニ依ル書類閱覽ノ請求ヲ拒ミタルトキ

七 第九十條ノ規定ニ違反シタルトキ

第百十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 第七條又ハ第七十四條ノ規定ニ依ル業務ノ制限若ハ停止ノ命令ニ違反シタル者

三 第七十二條第二項若ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ職務ノ執行ヲ阻害シタル者

四 第七十三條又ハ第八十七條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第百十五條 使用人使用主ノ業務ニ關シ本令ノ規定ニ違反スル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外使用主ヲ

モ處罰ス但シ使用主心神喪失者又ハ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者ナルトキハ其ノ法定代理人

ヲ處罰ス

第百十六條 法人ノ使用人法人ノ業務ニ關シ本令ノ規定ニ違反スル行爲ヲ爲シタルトキハ該行爲者ヲ罰スルノ外業務

ヲ執行スル社員又ハ役員ヲモ處罰ス

法人ノ業務ヲ執行スル社員又ハ役員前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ社員又ハ役員ヲ處罰ス

第百十七條 第百十五條又ハ前條第一項ノ場合ニ於テ處罰ヲ受クベキ使用主、法定代理人、社員又ハ役員ガ當該違反

行爲ヲ防止スル途ナカリシコトヲ證明シタルトキハ之ヲ罰セズ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際金融合作社ナル名稱ヲ用フル組合又ハ法人ハ本令施行後三月以内ニ限り第四條第二項ノ規定ニ拘ラス其

ノ名稱ヲ用フルコトヲ得

○金融合作社法施行規則

(康徳元年九月二十九日)
財政部令第二十九號

茲ニ金融合作社法施行規則ヲ左ノ通制定ス

金融合作社法施行規則

第一章 總 則

第一條 本令ニ於テ都市金融合作社ト稱スルハ金融合作社法第五條第三項ノ規定ニ依リ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ手形ノ割引ヲ爲ス金融合作社村落金融合作社ト稱スルハ其ノ他ノ金融合作社、聯合會ト稱スルハ金融合作社聯合會ヲ謂フ

第二條 金融合作社其ノ業務ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ

第三條 金融合作社分事務所ヲ設置セントスルトキハ其ノ名稱、所在地區域及業務ノ種類ヲ定メ財政部大臣ノ認可ヲ受ケベシ之ヲ變更シ又ハ分事務所ヲ廢止セントスルトキ亦同ジ

前項ノ分事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ

第四條 金融合作社ノ業務時間ハ午前九時ヨリ午後三時迄トス

金融合作社ハ財政部大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第五條 金融合作社ノ休日ハ節日曜日、其ノ他事務所所在地ニ行ハルル一般休日トス

金融合作社ガ天災其ノ他避クベカラザル事變ニ因リ臨時ニ休業シタルトキハ直チニ其ノ旨公告シ財政部大臣ニ届出ツルコトヲ要ス

第六條 金融合作社ノ事業年度ハ毎年七月一日ニ始マリ翌年六月三十日ニ終ル

第七條 金融合作社法第六十二條ノ規定ニ依ル管理金ハ聯合會ニ預入スルコトヲ要ス
前項管理金ヲ聯合會ニ預入シタルトキハ過滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ法定ノ最低管理金額ヲ超過スル部
分ヲ引出シタルムキ亦同ジ

第八條 金融合作社ハ毎事業年度ニ於ケル資金ノ運轉其ノ他業務上ノ計畫ヲ定メ之ヲ年度開始一月前迄ニ財政部大臣
ニ届出ツベシ但シ金融合作社成立當初ノ年度ニ限り其ノ成立後過滞ナク届出ツベシ

第九條 金融合作社ハ毎事業年度ノ經費豫算ヲ定メ之ヲ年度開始一月前迄ニ財政部大臣ニ提出シ認何ヲ受クベシ但シ
金融合作社成立當初ノ年度ニ限り其ノ成立後過滞ナク認何ヲ受クベシ經費豫算ヲ追加更正セントストキ亦同ジ
經費豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ

- 第十條 金融合作社ハ左ニ規定スル事項ニ付テハ財政部大臣ノ認可ヲ受クベシ
- 一 業務、職制、給與、旅費、身元保障、服務及懲戒ニ關スル諸規則ノ制定又ハ變更
 - 二 業務用土地、建物ノ取得若ハ處分又ハ業務用建物ノ新築、改築増築若ハ移築
 - 三 預金及貸付金ノ利率又ハ手形ノ割引歩合ノ決定若ハ變更
 - 四 定期積金ノ複利計算ニ依ル利息ノ決定若ハ變更
 - 五 損失ノ補填以外ノ特別準備金ノ處分
 - 六 財産目録ニ掲記シタル財産ノ價額ノ増加
 - 七 缺損ニ歸スベキ債權ノ整理
 - 八 債務濟済ノ爲ニ引受ケタル不動産ノ處分

前項第一號ノ諸規則ニシテ財政部大臣ノ定ムル準則ニ依リ制定シ又ハ變更スルモノハ認可ヲ受クルヲ要セズ
前項ノ規定ニ依リ諸規則ヲ制定又ハ變更シタルトキハ過滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ

第十一條 社長、監事及評議員ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ヲ經ルニ非ザレバ報酬ヲ受クルコトヲ得ズ

第十二條 金融合作社ニ於テ理事更迭シタルトキハ事務引繼ヲ爲シ引繼書ノ副本ヲ財政部大臣ニ提出スベシ

第十三條 總會又ハ總代會ヲ開カントストキハ開會十五日以前ニ會議ノ目的タル事項、開會ノ日時及場所ヲ財政部
大臣ニ届出ツベシ

第十四條 金融合作社ノ監事ハ毎年二回以上金融合作社ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査シ其ノ結果ヲ財政部大臣ニ届
出ツベシ

第十五條 金融合作社ノ公告ハ各事務所ノ揭示場ニ之ヲ爲スベシ

第十六條 出資一口ノ金額減少ニ關スル定款變更ノ認可申請書及總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ貸借對照表
及財産目録ヲ添附スベシ

第十七條 合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、貸借對照表、財産目録及合併後存続スル金融合作社又ハ合併ニ因リテ
設立スル金融合作社ノ定款ヲ添附スベシ

第十八條 金融合作社ノ清算人ハ金融合作社法第八十八條ニ依リ總會ノ承認ヲ經タルトキハ貸借對照表及財産目録ヲ
財政部大臣ニ提出スベシ

清算人ハ毎月清算事務報告書及貸借對照表ヲ作製シ翌月十五日迄ニ財政部大臣ニ提出スベシ

第十九條 金融合作社法又ハ本令ニ依リ財政部大臣ニ提出スル書領ハ聯合會ヲ經山スベシ
前項ノ書類ニシテ總會若ハ總代會又ハ評議員會ノ決議ヲ經ベキ事項ニ係ルモノハ其ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十條 金融合作社ハ毎月第一號様式ニ依リ實際報告表ヲ作製シ翌月五日迄ニ財政部大臣ニ發送スベシ

第二十一條 借款對照表、財産目錄、事業報告書及剩餘金處分案ハ第二號様式ニ依リ作製スベシ

第二十二條 金融合作社ハ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴シ又ニ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口金ヲ徴スルコトヲ得ズ

第二十三條 剩餘金ヨリ法定準備金、配當金及次年度繰越金ヲ控除シタル殘額ヲ特別準備金トシテ積立ツルコトヲ要ス

第二十四條 損失ノ補填ハ先ツ特別準備金ヲ以テ充テ次ニ法定準備金ヲ以テスベシ

第二十五條 金融合作社ガ金融合作社法第六十一條第二號ノ規定ニ依リ讓與ヲ受ケタル財産ハ之ヲ法定準備金ニ組入ルベシ金融合作社ガ附與ヲ受ケタル財産又ハ脱退シタル社員ニ對シ拂戻ヲ爲サザリシ金額ニ付亦同ジ

第二十六條 毎事業年度ニ於ケル損益計算ヲ爲スニ當リ未拂利息及未收利息ハ左ノ規定ニ依リ之ヲ處理スベシ

- 一 定期預金、定期積金及借入金ノ未拂利息ニシテ其ノ年度ノ負擔ニ屬スベキ額ハ之ヲ支拂ニ立ツベシ
- 二 未收利息ハ收入ニ立ツルコトヲ得ズ但シ額金及有價證券ノ利息ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 貸付及手形割引

第二十七條 都市金融合作社ニ在リテハ一社員ニ對スル貸付及手形割引ノ總額ハ千圓ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ不動産、動産、定期預金證書據置預金證書、定期積金證書又ハ有價證券ヲ擔保トスルトキハ三千圓起テ貸付スルコトヲ得

村落金融合作社ニ在リテハ一社員ニ對スル貸付ノ總額ハ二百圓ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ不動産、動産、定期預金證書、據置預金證書、定期積金證書又ハ有價證券ヲ擔保トスルトキハ五百圓起テ貸付スルコトヲ得

貸付ノ擔保トシテ徴シ得ル有價證券ハ財政部大臣之ヲ指定ス

第二十八條 貸付ノ期間ハ都市金融合作社ニ在リテハ六月内、村落金融合作社ニ在リテハ一年内トス

貸付金ノ使途ノ性質長期ノ償還ヲ必要トスルトキハ不動産、動産、定期預金證書、據置預金證書、定期積金證書又ハ有價證券ヲ擔保トスル場合ニ限リ十年内ノ年賦償還若ハ月賦償還又ハ五年内ノ定期償還ノ方法ニ依リ之ヲ貸付スルコトヲ得

第二十九條 前條第二項ノ貸付ニ要スル資金ハ借入金ノ外出資拂込金、法定準備金ノ三分ノ二以内並ニ定期預金、據置預金及定期積金ノ三分ノ一以内ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得但シ借入金ニ依ラザル貸付金ノ總額ハ外出資拂入金、法定準備金及特別準備金ノ總額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十條 都市金融合作社ニ非ザレバ手形ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得ズ
手形貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ借主ヲ約束手形ニ在リテハ振出人、爲替手形ニ在リテハ引受人ト爲シ償還義務者ヲシテ支拂拒絶證書ノ作製ヲ免除セシムベシ

第三十一條 手形貸付ニ付テハ其ノ貸付期間九十日ヲ超エザルモノニ限リ利息ノ先取ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 都市金融合作社ハ期間六月内ノ當座貸越ノ契約ニ依リ貸付ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 金融合作社ハ社員ノ信用程度表ヲ備ヘ置キ異動ノ都度之ヲ整理スベシ
金融合作社ハ毎年一回以上各社員ノ信用程度ヲ調査スベシ
貸付又ハ手形割引ノ金額ハ信用程度表ニ依ル信用程度ヲ超過スルコトヲ得ズ但シ擔保ヲ徴スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條 擔保ヲ徵セズシテ貸付又ハ手形割引ヲ爲ス場合ニ於テハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外確實ナル保證人又ハ確實ナル手形上ノ從タル債務者ヲ立テシムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ社員ヲ保證人ト爲ストキハ其ノ金融合作社ニ對スル主タル債務ト保證債務トヲ合セテ前條ノ信用程度表ニ依ル信用程度ヲ超過セザルコトヲ要ス社員ヲ手形上ノ從タル債務者ト爲ストキ亦同ジ

第三十五條 擔保ヲ徵シテ貸付又ハ手形割引ヲ爲ス金額ハ金融合作社ニ於テ鑑定シタル擔保評價額ノ十分ノ七以内トス但シ定期預金證書、据置預金證書又ハ定期積金證書ヲ擔保トシ利息ヲ先取スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十六條 土地ノ評價額ハ實地ニ就キ其ノ所在、等級、面積、既往ニ於ケル收穫量及其ノ價額ヲ調査シ且附近ノ賣買實例等ヲ斟酌シテ之ヲ決定スベシ

建物又ハ工場ノ評價額ハ實地ニ就キ其ノ所在、構造、用材、使用法、將來使用ニ堪ユベキ年限、賃貸料及賣買ノ難易等ヲ調査シテ之ヲ決定スベシ

前二項ノ調査ニ要スル費用ハ實費ヲ徵スルコトヲ得
動産及有價證券ノ評價額ハ時價ヲ超ユルコトヲ得ズ
据置預金證書及定期積金證書ノ評價額ハ既ニ受入レタル金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十七條 不動産ヲ擔保トシテ徵スル場合ニ限リ地券ヲ占有シ且所有權ヲ確認スルニ足ル書面ヲ添附セシメ抵當設定ノ登記ニ代フルコトヲ得

前項ノ低當權ハ第一順位ナルコトヲ要ス但シ金融合作社ヨリ借入スル新債ヲ以テ其ノ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ第一順位トナルコトヲ得ベキ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條 建物又ハ工場ハ火災保險ヲ付シタルモノニ非ザレバ擔保トシテ之ヲ徵スルコトヲ得ズ

長期貸付ノ擔保トシテ徵スル株式ハ金額ヲ拂込ミタルモノニ限ル

第三十九條 擔保トシテ徵シタル貨物ハ金融合作社ノ倉庫ニ之ヲ保管スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ金融合作社ニ於テ之ニ火災保險ヲ付シ確實ナル第三者ヲシテ保管セシムルコトヲ得

第四十條 擔保トシテ徵シタル有價證券、定期預金證書、据置預金證書又ハ定期積金證書ハ金融合作社ニ於テ保管シ且之ヲ以テ第三債務者其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ベキ法定ノ手續ヲ爲スベシ

第四十一條 貸付金ノ利息ハ貸付ノ日ヨリ償還ノ日迄日割ニ依リ之ヲ計算スベシ手形ノ割引料ニ付亦同ジ
貸付金ノ利息ハ數回ニ分割シテ支拂ハシムルコトヲ得

第四十二條 貸付金ニ對スル遅延利息ハ貸付金ノ利率ニ其ノ十分ノ三ヲ加ヘタル割合ヲ超過スルコトヲ得ズ

第四十三條 社員貸付ノ目的ニ反シ貸付金ヲ使用シタルトキ又ハ分割辦濟ノ場合ニ於テ其ノ辦濟ヲ怠リタルトキハ金融合作社ハ償還期限前ト雖モ貸付金全部ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 社員ハ償還期限前ト雖モ借入金全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ金融合作社ハ手数料ヲ請求スルコトヲ得ズ

第四十五條 金融合作社ハ五人以上ノ社員相互ノ證明ニ依ル社員ノ印鑑ヲ備ヘ置キ貸付又ハ手形割引ノ都度借主又ハ保證人ノ印章ト之ヲ照合スベシ

第三章 預金及定期積金
第四十六條 金融合作社ノ受入ルル預金ハ定期預金、當座預金、特別當座預金及据置預金トシテ定期積金ヲ受入ルルモノトス

第四十七條 社員ニ非ザル者ノ定期預金、据置預金及定期積金ノ契約期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十八條 社員ニ非ザル者ノ預金及定期積金ハ社員ノ預金及定期積金ト區別シタル帳簿ニ依リ之ヲ整理スベシ

第四十九條 定期預金ハ金額二十圓以上期間六月以上ノモノニ限ル

第五十條 當座預金、特別當座預金及据置預金ノ利息ハ預入ノ日ヨリ拂戻ノ前日迄ノ日數ヲ計算シテ之ヲ付スベシ

第五十一條 當座預金、特別當座預金及据置預金ノ利息ハ毎年四月末日及十月末日ニ之ヲ計算シ翌月一日之ヲ充加ス

但シ特別ノ契約ニ依ル預金ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條 特別當座預金ノ受拂ハ通帳ニ依リ之ヲ爲スベシ

金融合作社方据置預金又ハ定期積金ノ集金ヲ爲ス場合ハ其ノ集金方法ヲ一定シ之ヲ据置預金又ハ定期積金ニ關スル

證書ノ約款ニ記載スベシ中途解約ノ場合ニ於ケル利息ノ支拂ニ付亦同ジ

當座預金ハ毎年二回以上其ノ預金者ニ就キ殘高ヲ照合スベシ据置預金及定期積金ニシテ集金ヲ爲スモノニ付亦同

第四章 聯合會

第五十三條 聯合會ハ左ニ規定スル事項ニ付テハ財政部大臣ノ認可ヲ受クベシ

一 業務、職制、給與、旅費、身元保證、服務及懲戒ニ關スル諸規則ノ制定又ハ變更

二 業務用土地、建物ノ取得若ハ處分又ハ業務用建物ノ新築、改築増築若ハ移築

三 預金及貸付金ノ利率ノ決定又ハ變更

四 損失ノ補填以外ノ特別準備金ノ處分

五 財産目録ニ掲記シタル財産ノ價額ノ増加

前項第一號ノ諸規則ニシテ財政部大臣ノ定ムル準則ニ依リ制定又ハ變更スルモノハ認可ヲ受クルコトヲ要セズ

前項ノ規定ニ依リ諸規則ヲ制定又ハ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ

第五十四條 理事長、副理事長及理事ニハ財政部大臣ノ指定スル給料及手當ヲ給スベシ監事又ハ參與ハ定款ノ規定又

ハ總會ノ決議ヲ經ルニ非ザレバ報酬ヲ受クルコトヲ得ズ

第五十五條 貸付金ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ長期貸付ニ要スル資金ハ五年迄ト爲スコトヲ得

第五十六條 貸付ノ金額及期間ハ資産ノ狀態及資金ノ用途ヲ斟酌シテ之ヲ決定スベシ

第五十七條 期間一年以内ノ貸付ハ手形ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

當座貸越ノ方法ニ依ル貸付金ノ契約期間ハ二年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五十八條 預金ノ種類ハ定期預金及當座預金トス

第五十九條 定期預金ハ其ノ金額千圓以上ニシテ期間三月以上ノモノニ限ル

第六十條 金融合作社法第九條ノ規定ニ依ル管理金ハ財政部大臣ノ指定スル銀行ニ預入スベシ

第六十一條 聯合會ハ何時ニテモ會員ヲシテ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

聯合會前項ノ報告ヲ徴シタルトキハ遲滞ナク其ノ要領ヲ財政部大臣ニ届ツベシ

第六十二條 聯合會ハ毎年一回以上會員ニ就キ業務ノ調査及指導ヲ爲スベシ

前項ノ調査及指導ヲ爲シタルトキハ一月内ニ其ノ調査及指導ノ要領ヲ財政部大臣ニ届ツベシ

第六十三條 會員方法令若ハ定款ニ違反シ又ハ其ノ事由ニ依リ財政部大臣ノ命令若ハ處分ヲ必要トスル場合ニ於

テハ聯合會ハ遲滞ナク其ノ旨財政部大臣ニ具申スベシ

第六十四條 聯合會ハ毎月第三號様式ニ依ル實際報告表ヲ作製シ翌月二十日迄ニ財政部大臣ニ提出スベシ

第六十五條 聯合會方協議會又ハ講習會ヲ開催セントスルトキハ豫メ其ノ旨財政部大臣ニ届出ツベシ

三〇

第六十六條 貸借対照表、財産目録、事業報告書及剰餘金處分案ハ第四號様式ニ依リ作製スベシ
第六十七條 第二條乃至第六條、第八條、第九條、第十二條乃至第十六條、第十八條、第十九條第二項、第二十二條乃至第二十六條、第四十二條、第四十四條第五十二條、第五十二條第三項ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用ス但シ金融合作社トアルハ聯合會、分長務所トアルハ支部、社長及理事トアルハ理事長、副理事長トス

附 則

本令ハ金融合作社施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

毎月實際報告表

昭和 年 月 日

社長 _____
理事 _____

金融合作社

貸 借 (借方)	損 益 (貸方)	貸 借 (借方)	貸 借 (貸方)
金額	金額	金額	金額
	社員出資金		
	未収出資金		
	法定準備金		
	特別準備金		
	配當金		
	前年度繰越金		
	前年度損益		
	借入金勘定		
	政府貸下基本金		
	長期借入金		
	短期借入金		
	貸借総額		

()	()	預金及定期積金勘定	()	()	()
		(社員預金及定期預金)			
		社員定期預金			
		社員當座預金			
		社員特別當座預金			
		社員振替預金			
		社員定期預金			
()	()	(非社員預金及定期預金)	()	()	()
		非社員定期預金			
		非社員往來預金			
		非社員特別當座預金			
		非社員振替預金			
		非社員定期預金			
		身元保證金勘定			

職員身元保證金	
貸出金勘定	
長期繼續保貸付金	
短期繼續保貸付金	
短期保證貸付金	
擔保手形貸付金	
無擔保手形貸付金	
擔保當座貸付金	
引手形	
總保付割引手形	
無擔保割引手形	
銀行金庫業者勘定	
強行金庫勘定	
媒介貸付金	

取立金	
振込	
預金勘定	
特別預金	
定期預金	
特別當座預金	
當座預貯金	
聯合會勘定	
聯合會出賃金	
預益整理勘定	
預付補償金	
未定期預金	
未定期預金	

1111

預金	
未決算勘定	
假受金	
損益勘定	
收入利息	
收入割引料	
收入手数料	
勘定料	
聯合會出賃配當金	
雑益	
経費補助金	
交際利息	
給付補償金繰入	

支拂手数料	
旅費	
事務費	
寄附金	
借入金利息	
所有物償却	
雑損	
所有物勘定	
土地	
建物	
什器	
有価証券	
金銀勘定	

1111

負債

種別	債	類	何員何名何口	要	金	四	額
出資金	何	何	何	何	何	何	何
政府貸下基本金	何	何	何	何	何	何	何
法定準備金	何	何	何	何	何	何	何
特別準備金	何	何	何	何	何	何	何
配當金	何	何	何	何	何	何	何
(借入金)							
長期借入金	何	何	何	何	何	何	何
短期借入金	何	何	何	何	何	何	何
當座借越	何	何	何	何	何	何	何
(社員預金及定期預金)							
定期預金	何	何	何	何	何	何	何
損置預金	何	何	何	何	何	何	何
特別當座預金	何	何	何	何	何	何	何
當座預金	何	何	何	何	何	何	何

三六

定期積金	何	口
定期積金	何	口
(非社員預金)		
定期預金	何	口
損置預金	何	口
特別當座預金	何	口
當座預金	何	口
定期積金	何	口
職員身元保證金	何	口
取立金	何	口
振込金	何	口
給付補償金	何	口
未排利息	何	口
假受金	何	口
本年度剩餘金	何	口
(内前年度繰越金)		
總計	何	口

(注意)

「定期預金其ノ他ノ未排利息」ノ外未経過引料等ノ未経過益ヲ次年度ニ繰越シタルキハ「未経過引料其ノ他」ノ二科目ヲ設ケテ之ヲ掲クベシ貸借対照表亦之ニ準ズ

(丙) 第何期(自康總年七月一日至同年六月末日) 事業報告書

第二項 事務所及區域

本年度末現在ノ事務所及區域左ノ如シ

事務所別	事務所所在場所	區	域	備	考
本所		第何區	第何區		
分事務所		第何區	第何區		

(注意)

一 「備考欄」ニハ本年度間ニ於テ事務所所在場所及區域ニ關シ變更アリタル場合其ノ要領ヲ記載スベシ
 二 分事務所ヲ有セザル合作社ハ「事務所別」欄ヲ廢スベシ以下「事務所別」欄ヲ設クルモノ亦之ニ準ズ

第三項 社員

一 社員ノ増減

地方別	前年度末	本年度末	本年度末	同上月末
何區	何	何	何	何
何區	何	何	何	何
計	何	何	何	何

第三項 事業ノ概況

(本項ニハ本年度間ニ於ケル區域内ノ金融經濟狀態ノ變遷、事業ノ消長、業務上ノ諸施設及其ノ成績等ニ關シ分事務所ヲ有スル合作社ニ在リテハ本、分事務所別ニ梗概ヲ記載スベシ)

第四項 (總會若ハ總代會) 及評議員會

(本項ニハ本年度間ニ開催シタル總會(若ハ總代會)及評議員會ノ種類、開催ノ年月日、決議シタル事項等ノ要領ヲ記載スベシ)

第五項 庶務ノ要件

(本項ニハ本年度間ニ於テ官廳ニ申請又ハ届出ヲ爲シタル事項)

三七

金融合作社登記簿ニ登記ヲ爲シタル事項、主管官署、金融合作社聯合會及監事ヨリ受ケタル業務監査、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務ノ要領ヲ月日順ニ列記スベシ

第六項 本年度損益計算

利	益	損	失
種別	金額	種別	金額
貸付金利息	圓	借入金利息	圓
割引料		預金利息	
預金利息		給付補助金	
有價證券利息		支拂手数料	
収入手数料		給料及手當	
鑑定料		旅費	
聯合會出資		事務費	
雑益		營繕費	
経費補助金		滞貸出金銷却	
(小計)	()	所有物價額銷却	

第七項 本年度末現在社員及出資口數

住所	社員氏名	出資口數	住所	社員氏名	出資口數

(注意)
一 社員ハ其ノ住所ニ從ヒ區又ハ町別ニ之ヲ列記シ各地方別ノ末尾ニ其ノ口數及出資ノ合計口數ヲ附記スベシ
二 本項ハ別表ヲ以テ記載スルコトヲ得
(一) 第何期(自康徳年七月一日) 剩餘金處分案
(二) 第何期(至同 年六月末日) 剩餘金處分案
本年度剩餘金何圓也

之ヲ處分スルコト左ノ如シ
法定準備金(本年度剩餘金ノ何分ノ何) 何圓
特別準備金 何圓
配當金(拂出資額ニ對シ年何分ノ割) 何圓
此ノ内出資拂込ニ充當スヘキ分 何圓
次年度繰越金 何圓

前年度繰越金	雜損
	(小計)
	本年度剩餘金
	(内本年度)
計	純剩餘金

(注意)
一 雜益及雜損ニ付テハ其ノ内雜損ヲ本表末ニ記載スベシ
二 分事務所ヲ有スル合作社ハ次號表ニ依リ本、分事務所ニ區分シタル總損益金ヲ掲記スベシ
右本年度損益金ヲ本、分事務所ニ區別スルニ左ノ如シ

事務所別	本年度總益金	本年度總損金	本年度剩餘(損)金
本所			
分事務所			

(注意)
本年度總損益金ハ本所及分事務所間ニ收受シタル利息其ノ他ノ損益ヲ含メタルモノヲ掲クベシ

右ノ通
康徳年 月 日

何金融合作社
社長 氏 名 印
理事 氏 名 印

前記貸借對照表、財産目錄、事業報告書及剩餘金處分案ヲ調査シ其ノ正確ナルヲ認ム
康徳年 月 日
監事 氏 名 印
監事 氏 名 印

(第三號表式)

毎月實際報告書

康徳年 月 日

理事 氏				金 額			
貸	借	貸	借	貸	借	貸	借
資	金	金	金	貸	借	貸	借
金	額	額	額	貸	借	貸	借
金	額	額	額	貸	借	貸	借

出資金			
法定準備金			
特別準備金			
配當金			
前年度繰越金			
前年度損益			
借入金勘定			
政府貸下基本金			
(借入金)	()	()	()
長期借入金			
短期借入金			
常座借越			
預金勘定			
特別預金			
定期預金			
當座預金			

身元保証金勘定			
職員身元保証金			
貸付金勘定			
(貸付金)			
長期貸付金			
短期貸付金			
常座貸越			
預金勘定			
定期預金			
通知預金			
特別常座預金			
當座整理預金			
損益整理勘定			
定額預金其/他/未			
損預金其/他/未			
損預金其/他/未			
未決算勘定			

三〇

受取金			
假損勘定			
貸付金利息			
有価証券利息			
経費補助金			
借入金利息			
預給料及手當			
旅費			
事務費			
雑費			
所有物償却損			
雑損			

所有物勘定			
土地			
建物			
什器			
有価証券			
現金			
計			

(注意)
 (1) 預中ノ証券法第百九條ニ依リハ各ノ種ノ上ノ部ニシテ本表科目ニシテハ必要ナキハ追加スルモノトス

(2) 本表科目ニシテハ必要ナキハ追加スルモノトス

三一

(會員ノ増減)

區別	前月末現在員數	本増員數	本月減員數	本月末現在員數
金融合作社	名	名	名	名

(甲) 第何期末 (康徳 年六月末日現在) 貸借對照表

資 産	金 額	負 債	金 額
貸付金		出資金	
預金		法定準備金	
預金其(他)		特別準備金	
未收利息		配當金	
假 拂 金		政府貸下基本金	
土地建物及什器		借入金	
有價證券		職員身元保證金	
現 金			

資 産	金 額	負 債	金 額
種 類	摘 要	種 類	摘 要
(貸付金)		定期預金共(他)	
長期貸付金		假 受 金	
短期貸付金		本年度剩餘金	
短期貸付金		(内前年度繰越金)	
當座貸越		總 計	
定期預金			
通知預金			
特別當座預金			

(乙) 第何期末 (康徳 年六月末日現在) 財産目錄

政府貸下基本金	何銀行何口	
長期借入金	同	
短期借入金	同	
當座借越	同	
預 金	同	
特別預金	何口	
定期預金	何口	
當座預金	何口	
職員身元保證金	現在職員何名何口	
定期預金其(他)	借入金利息何口	
假 受 金	何口	
本年度剩餘金	何口	
繰前年度繰越金	何口	
總 計		

四二

當座預金	同	
預金其(他)	有價證券利息何口	
未收利息	同	
假 拂 金	同	
土地建物	業務用土地何坪	
土 地	業務用土地何坪	
建 物	業務用何坪	
什 器	業務用何坪	
有價證券	何外何點	
現 金	何通	
總 計		

種 類	摘 要	金 額
出資金	會員何名何口	
法定準備金		
特別準備金		
配當金		
(借入金)		
總 計		

(丙) 第何期 (自康徳 年七月一日 至同 年六月末日) 第一項會 員 事業報告書

四三

種別	前年度末現在員數	本年度加入員數	本年度脱退員數	本年度末現在員數
村落金融合作社				
都市金融合作社				
計				

(注意)

本年度脱退員數ニ付テハ其ノ脱退ノ事由ヲ本表末ニ記載スベシ

第二項 事業ノ概況

(本項ニハ本年度間ニ於ケル区域内ノ金融經濟状態ノ變遷、會
員ノ資金調節及業務指導、協議會及講習講話會ノ開催其ノ他ノ
業務上ノ諸施設及其ノ成績等ニ關シ梗概ヲ記載スベシ尙會員中
特ニ業績不良ニシテ聯合會ヨリ特殊ノ援助ヲ與ヘ居レルモノア
ルトキハ其ノ援助及合作社ノ業務整理經過狀況ノ概要ヲモ附記
スベシ)

第三項 會 員

(本項ニハ本年度間ニ開催シタル總會ノ種類、開催ノ年月日、
決議シタル事項等ノ要領ヲ記載スベシ)

四四

第四項 庶務ノ要件

(本項ニハ本年度間ニ於テ官廳ニ申請又ハ届出ヲ爲シタル事
項ハ金融合作社聯合會登記簿ニ登記ヲ受ケタル事項、主管官署又
ハ監事ヨリ受ケタル業務監査、訴訟其ノ他ノ重要ナル庶務ノ要
領ヲ月日順ニ列記スベシ)

第五項 會員業務ノ實地監査

本年度間ニ於ケル會員業務ノ實地監査施行狀況左ノ如シ

種別	員數	業務普通監査實施	業務特別監査實施
村落金融			
都市金融			
計			

(注意)

普通監査ヲ實施セザリシ會員アルトキハ其ノ事由ヲ本表末ニ記載
スベシ

第六項 會員協議會、講習會等ノ開催

本年度間ニ開催シタル會員協議會等ノ狀況左ノ如シ

種別	開催回數	開催延日數	開催場所	出席者又ハ受講者ノ種別員數
何協議會				
何講習會				
同				

第七項 會員ノ出資

前年度末現在高	本年度増加高	本年減少高	本年度末現在高
出資口數	出資口數	出資口數	出資口數
拂込金額	拂込金額	拂込金額	拂込金額
同	同	同	同

第八項 積立金

種別	前年度末現在高	本年度増加高	本年減少高	本年度末現在高
法定準備金				
何積立金				
計				

(注意)

本年度増減高ノ内譯ヲ本表末ニ記載スベシ

第九項 金 銀

執務日數	前年度繰越高	本年度受入高	本年度支出高	本年度末現在高

第十項 本年度損益計算

利 別 金	損 別 金	失 別 金
貸付金利息	借入金利息	
預金利息	預金利息	
有價證券利息	給料及手當	
雜 益	旅 費	
雜 損	事 務 費	
前年度繰越金	所有物償額銷却	
(小) 計	(小) 計	(小) 計

四五

計	本年度剰餘金	
	(純)本年度剰餘金	
計	()	

(注意)
雑益及雑損ニ付テハ其ノ内譯ヲ本表末ニ記載スベシ

第十二項 本年度現在會員及出資口數

住 所	會 員 名	出 資 口 數	住 所	會 員 名	出 資 口 數

(注意)
會員ハ種別ニ之ヲ列記シ各種別ノ末尾ニ其ノ員數及出資ノ合計口數ヲ附記スベシ

四六

(丁) 第何期 (自康徳 年七月一日) 剰餘金處分案

本年度剰餘金何圓也

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金 (本年度剰餘金ノ何分ノ何)

特別準備金 何 何

配當金 (拂込出資額ニ對シ年何分ノ何) 何 何

次年度繰越金 何 何

右ノ通

康徳年 月 日

金融合作社聯合會

理事長 氏 名印

前記貸借對照表、財産目録、事業報告書及剰餘金處分案ヲ調査シ共ノ正確ナルヲ認ム

康徳年 月 日

監事氏 名印
監事氏 名印

四七